

NEWS RELEASE

2022年5月20日(金)

18年ぶりとなるフルオーケストラとの挑戦！CHEMISTRY からコメントが到着！

明日5/21(土)にチケット一般発売開始



ビルボードジャパン（株式会社阪神コンテンツリンク〔阪急阪神ホールディングスグループ〕本社：大阪市福島区、代表取締役：清水 奨）が今夏、東京文化会館（7月27日）とフェスティバルホール（8月7日）にて開催する「billboard classics CHEMISTRY Premium Symphonic Concert 2022」のチケット一般発売が、明日5月21日にスタートする。

デビュー後ほどなくして2004年に行われた『CHEMISTRY in SUNTORY HALL～響～』以来、実に18年ぶりとなるフルオーケストラを従えての公演を前に、CHEMISTRYのふたりからコメントが到着。

堂珍嘉邦「21年目のこのタイミングで、再びオーケストラの皆さんと一緒にステージに立てる機会をいただけたのは、本当に恵まれていると思います。20年間歌ってきた曲の中から、オーケストラのみなさんと楽しくコラボレーションできる曲達をピックアップしました。どうなるか想像がつかない分、今からワクワクしています」

川畑要「2004年のオーケストラ公演のことははっきり覚えています。あれから18年経って自分の歌がどれだけ変わったか、自分がどう成長できているのか確認できる場なので、ある意味挑戦だと思っています。あの独特の緊張感を皆さんと一緒に楽しみたいと思います」

国内外で精力的に活躍する指揮者の栗田博文のもと、2度目の共演となる東京フィルハーモニー交響楽団、そして初共演の大阪交響楽団とともに、また、CHEMISTRY とこれまでも舞台をともにしてきた渡辺シュンスケをゲスト・ピアニストに迎えて行われる新たなステージに期待したい。

なお、インタビュー記事は、6月に billboard JAPAN.com の特集として掲載予定。

【公演情報】

billboard classics CHEMISTRY Premium Symphonic Concert 2022
2022年7月27日(水) 開場 17:30 開演 18:30 東京文化会館 大ホール
2022年8月7日(日) 開場 16:00 開演 17:00 フェスティバルホール

出演：CHEMISTRY
ピアノ：渡辺シュンスケ

指揮：栗田博文
管弦楽：【東京】東京フィルハーモニー交響楽団【大阪】大阪交響楽団

編曲監修：山下康介

主催・企画制作：ビルボードジャパン（阪神コンテンツリンク）
後援：米国ビルボード
公演公式サイト：<https://billboard-cc.com/classics/chemistry2022/>

チケット：SS席 13,000円、S席 11,000円（全席指定・税込）
※特製プログラム付き
※未就学児入場不可

一般発売：2022年5月21日(土) 10:00～

※収容率は政府の方針、感染状況等により判断いたします。なお収容率100%で実施する場合、前後左右を空けずにお座りいただくこととなりますので予めご了承ください。

※チケット購入の際は必ず、下記ページに掲載している注意事項をご確認の上、チケットをお求め下さい。

<お客様へのお願いと感染予防対策について：<https://billboard-cc.com/classics/200924notice/>>

コンサートに関するお問合せ

【東京】H.I.P. 03-3475-9999（月～金 10:00～18:00、土日祝休）

【大阪】キョードーインフォメーション 0570-200-888 11:00～16:00（日曜・祝日は休業）

* * * *

CHEMISTRY Zepp Tour 2022 「Get Together Again!!」

2022年9月3日(土) 神奈川・KT Zepp Yokohama

2022年9月17日(土) 福岡・Zepp Fukuoka

2022年9月19日(月祝) 大阪・Zepp Namba

2022年9月24日(土) 北海道・Zepp Sapporo

2022年10月1日(土) 東京・Zepp Haneda(TOKYO)

2022年10月8日(土) 愛知・Zepp Nagoya

チケット：8,500円（全席指定・税込/ドリンク代別）

先行情報 https://chemistry-official.net/s/a001/page/schedule_article#id49138

【添付資料】出演者プロフィール

CHEMISTRY



堂珍嘉邦、川畑 要による男性デュオ。オーディションバラエティ番組「ASAYAN」の男子ボーカリストオーディションで選ばれ、ボーカルデュオ“CHEMISTRY”としてシングル「PIECES OF A DREAM」で2001年3月7日デビュー。2021年にデビュー20周年を迎え、2022年2月にはベストアルバム「The Best & More 2001～2022」楽曲を発売。さらに20周年イヤーのファイナル公演を日本武道館にて開催するなど、21年目も精力的に活動中。

オフィシャルサイト <https://www.chemistry-official.net/>

渡辺シュンスケ（ピアノ）



1975年1月7日生まれ、愛知県名古屋市出身。13才(中学2年生)から、キーボードを始める。高校卒業後、上京。国立音楽大学に入学。在学中よりセッション・キーボーディストとしての活動を開始する。アコースティックピアノ、オルガン、シンセサイザーからコンピューターまで大胆に使いこなすキレの良い鍵盤さばきと華のあるステージ・パフォーマンスによって一躍若手を代表するキーボーディストのひとりとして注目を浴びる。近年では多くの著名アーティストのレコーディングやライブ・ステージで活躍する他、楽曲提供、プロデュース、アレンジ等も数多く行っている。

また、自身のプロジェクトとして“Schroeder-Headz”の他、オリジナル・ソングをボーカル&ピアノを披露する“cafelon”としても定期的にライブを行なう。

オフィシャルサイト <https://watanabe-shunsuke.com/>

栗田博文（指揮）



1988年、第23回東京国際音楽コンクール指揮部門において第1位優勝を果たし、翌年、国内主要オーケストラを指揮しデビュー。1989年に渡欧。同年、第1回アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクール（イタリア）に入賞し国際的な評価を確立。1995年、第1回シベリウス国際指揮者コンクール（フィンランド）の最高位に輝く。同年、フィンランド放送交響楽団より招かれ、ヨーロッパデビューを果たし大好評を博す。国内外の活発な指揮活動とともに、国立音楽大学客員教授を務め、後進の指導にも力を注いでいる。クラシック音楽の古典から現代作品まで、幅広いレパートリーを持つほか、様々なジャンルとのコラボレーションも積極的に行っている。

栗田博文ブログ <http://hirofumi-kurita.com/>

東京フィルハーモニー交響楽団

1911年創立。日本のオーケストラとして最古の歴史をもち、メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督ジョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフ。自主公演の他、新国立劇場他でのオペラ・バレエ演奏、NHK他における放送演奏など、高水準の演奏活動を展開。また、海外公演

も積極的にいき、国内外から高い注目を集めている。

1989年からBunkamura オーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

オフィシャルサイト <https://www.tpo.or.jp/>

大阪交響楽団

1980年「大阪シンフォニカー」として創立。創設者である、永久名誉楽団代表・敷島博子（故人）が『聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を！』を提唱。いつも聴衆を“熱く”感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。

2001年1月に、楽団名を「大阪シンフォニカー交響楽団」に、2010年4月「大阪交響楽団」に改称した。

2022年4月、新指揮者体制として、山下一史（常任指揮者）、柴田真郁（ミュージックパートナー）、高橋直史（首席客演指揮者）の3名の就任を予定しており、さらなる楽団の飛躍が期待されている。

2006年4月、大和ハウス工業株式会社 代表取締役会長 CEO（当時）樋口武男氏が運営理事長を経て、2018年11月公益社団法人大阪交響楽団理事長に就任。2020年10月に大和ハウス工業株式会社 代表取締役社長 CEO 芳井敬一氏に理事長をバトンタッチした。

オフィシャルサイト <http://sym.jp/>